



ナンバープレートをしっかりと読み取る高画質記録が特徴（一部画像処理）

データテック

居眠り・ながら運転検知

ドライバーに音声警告

データ・テック(田野通保社長、東京都大田区)は今夏、従来のセイフティレコーダ(SR)の機能に加え、高画質録画や居眠り・ながら運転検知機能などを備えた先進デジタルタコグラフ「SR Advance(アドバンス)」を発売する。

アドバンスの特徴はナンバープレートをしっかり読み取る高画質記録

データ・テック(田野通保社長、東京都大田区)は、約200万画素、位置情報は30秒に1回自動更新する。居眠り・ながら・脇見運転を検知すると、ドライバーに音声アナウンスで警告するとともに、管理者にも同時に通知する。

50時間の映像を記録できる。様々な情報はSRサーバー解析システムで事務所と共有。事務所は異常事態、位置情報などの把握や、ライブ映像も取得できる。

また、「運転挙動解析で検出した危険な運転をメールで通知し、管理者がリアルタイムで映像を確認できる機能やドライバーの居眠り、脇見などを検知する機能でドライバーの安全運転をリアルタイムにサポートする。

(高橋朋宏)